

伝言板

新・環境基本計画(案)の説明会を開催します
市では、環境行政の道筋となる「新・環境基本計画」の策定を進めています。この計画では、行政が取り組むべきこと、市民の皆さんができること、事業者の取り組みなど役割を明確にし、三者が一体となって取り組みを継続していくことで、より実効性のあるものにしていきます。このほど、この計画の素案がまとまりましたので、次の日程で説明会を開催します。

日時2月15日(土)13時30分～15時 場所市役所6階会議室 問い合わせ環境政策課へ内線3672

毎月2日は
ノーレジ袋デー



防災一口メモ

忘れていませんか?あの大震災を
今年17日で、阪神・淡路大震災から8年が経ちました。死者約6千400名、負傷者約4万1千500名、住家の被害は全壊・半壊合わせて約20万7千200棟にのぼりました。そしてライフラインは、復旧するまでに電気が6日間、電話が2週間かかり、全面復旧は3か月後だったのです。

震災後の調査では、被害に遭ったほとんどの人が、初めは何が起こったのか、とっさには理解できないほどの衝撃を受けています。そして少し落ち着きを取り戻し、被害の大きさを知るころになると、今度は情報が入手できず、すぐに適切な行動がとれない状況だったのです。また、この震災での人的被害の多くが家具の転倒によるものでした。

このように、万一の際に備えて非常持ち出し袋を用意する中に、携帯ラジオなどの情報収集ができるものを入れておくことが必要です。また、家具を転倒しないようにしておくことも重要です。もう一度、わが家の防災対策を確認してみましょう。

問い合わせ交通防災課へ内線3695

消防本部からの報告

12月の火災件数6件(建物5件、車両1件、その他の火災0件) 救急出動件数454件 搬送人員432人

人口と世帯 1月1日現在。(内は前月比)

	住民基本台帳人口	外国人登録人口
男	81,870人(+35人)	791人(-1人)
女	78,659人(+13人)	946人(-18人)

合計	160,529人(+48人)	1,737人(-19人)
世帯	60,867世帯(+42世帯)	1,366世帯(-15世帯)

住民基本台帳法に基づく年齢別人口

14歳以下	21,523人(13.41%)
15歳～64歳	116,711人(72.70%)
65歳以上	22,295人(13.89%)

2月の狭山ケーブルテレビ

☎0120-340-379 ☎956-5630
e-mail: ch9@staff.s-cat.ne.jp
http://www.s-cat.ne.jp

みんな茶やま▶狭山市ホットインフォメーション(市役所からのお知らせ、字幕付)▶自治会の時間▶すこやか体操▶は～いお手紙です
ちゃっぴいアワー▶ニュース▶サポートねっと(家庭系生ごみ回収システム、WAVE・狭山商工会議所からのお知らせ、平成16年は埼玉国体・開催までのスケジュールほか)▶カレッジステーション(国際理解への第一歩ほか)▶ティーブレイク(中村さつき氏、尾澤栄一氏、清水澄氏、工房夢来夢来から、岡本リアリン氏ほか)▶地域経営者▶特集(お店紹介、新コーナー健康ポウリング、居酒屋「つき」ほか)▶いろいろはたの昔ばなし「紅梅と將軍様」
ちゃっぴい撮影隊▶成人の主張(4日～10日)▶人権啓発講演会「暮らしの中の身近な人権・長屋に伝わる思いやり」(11日～17日)▶これでよいのか日本の農と食(18日～24日)▶コア技術展示交流会2003より大田区のモノづくりへの取り組み(25日～3月3日)
野村の自由学校▶「こんな美しい夜明け」俳優人生40年(俳優・加藤剛氏)

ちゃっぴいアワーの特集コーナーで今月から始まる「健康ポウリング」は必見です。新狭山グランドポウルから、知っているようで知らないポウリングの魅力をお伝えします。

お・茶・香・る・ま・ち

SAYAMA CITY
さやま

狭山市広報・お知らせ版 VOL.379

発行日/平成15年1月25日(毎月10・25日発行)

発行/狭山市 編集/狭山市総合政策部広報課
〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5

☎042-953-1111(内線7162) ☎042-954-6262

テレホンガイドさやま☎0120-460-380

ホームページ <http://www.city.sayama.saitama.jp/>

編集後記

新しい年がスタートし、早1か月が経過しようとしています。平成15年が皆さんにとって健康で幸せな一年でありますように、そして穏やかで平和な年でもありますように。さて、広報担当として昨年7月に着任し、こども動物園のサマースクールに始まり、入間川七夕まつり、秋には商工祭、さやま大茶会、また公民館の講座など、さまざまな取材をさせていただきました。今年の私の課題は、さらに良い写真をたくさん撮る、文章を分かりやすく表現するなど山積みです。締め切りに追われる忙しい毎日が続くと思いますが、国民体育大会のリハーサル大会など、大きな事業が予定されている中で頑張りたいと思います。これからいろいろな情報をお届けし、皆さんに親しまれる広報紙作りに努めていきたいと思っておりますので、イベント会場などで取材をしている広報担当職員を見かけたらご協力をよろしくお願いいたします。